



○営業時間の変更について

- 令和6年8月30日(金) 15日まで営業
- 令和6年9月30日(月) 12時まで営業(仮決算棚卸のため)
- 令和6年10月1日(火) 13時より営業(仮決算棚卸のため)

○湯河原営農経済センター展示即売会のお知らせ

日時：令和6年9月7日(土) 9時~11時30分

※時間外の商品受け渡しは準備の都合上できませんのでご了承ください。

——【温州みかん】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

この時期の病害虫防除は、収穫時の外観・品質へ大きく影響します。必ず実施しましょう。

病害虫防除 8月下旬 ~ 9月上旬

- 黒点病 ジマンダイセン水和剤またはペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓
収穫30日前 4回 * 極早生に散布する際は、収穫日に気をつけてください。
- ミカンハダニ ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫前日 1回
ミカンサビダニ 又は
ダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 1回
- チャノカイガラムシ スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

ヤノネカイガラムシ

9月下旬~10月中旬

- カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50ml/100㍓ 収穫前日 3回又は
ロディー乳剤(劇) 2,000倍 50ml/100㍓ 収穫7日前 4回

浮皮軽減 **蚩尻期**

フィガロン乳剤 3000倍 収穫7日前まで2回 300㍓/10a

1回目 蚩尻期に散布 2回目 蚩尻期の2週間後 (*ただし、樹勢が低下している樹には散布しない。)

——【中晩柑】——

病害虫防除 8月下旬~9月上旬 基本防除はみかんの項参照

* 中晩柑の防除における農薬の使用日数には十分に注意しましょう。

- 例) ジマンダイセン水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。
- ペンコゼブ水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。

○かいよう病(単用散布) コサイド3000 2,000倍 50g/水100㍓
(クレフノン200倍を加用)

施肥 中晩柑は秋季も窒素成分を切らさないようにしましょう。

初秋肥 9月中旬 特選みかん配合655 140kg/10a(後期肥大促進・樹勢維持のため)

* 10月下旬にもう1度施肥を行います。 特選みかん配合655 100kg/10a

——【レモン】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。——

病害虫防除	8月下旬~9月上旬
○ミカンハダニ	<u>ダブルフェースフロアブル 3,000倍 収穫前日 1回 33ml/水100㍓</u>
ミカンサビダニ	又は
チャノホコリダニ	<u>ダニゲッターフロアブル 2,000倍 収穫前日 1回 50ml/水100㍓</u>
○かいよう病	<u>コサイド3000 2,000倍 50g/水100㍓</u>
黒点病	<u>(クレフノン200倍加用)</u>

施肥 中晩柑は秋季も窒素成分を切らさないようにしましょ。
初秋肥 9月中旬 特選みかん配合655 120kg/10a (後期肥大促進・樹勢維持のため)
*10月下旬にもう1度施肥を行います。 特選みかん配合655 100kg/10a

——【湘南ゴールド】——

秋口の摘果では肥大促進効果は低いので、病害虫の被害が著しい果実と極小果を中心に仕上げシンニング(摘果)を行いましょ。裾枝・下垂枝の持ち上げ摘果で2S以下を無くしましょ。

仕上げシンニング (摘果)	9月20日	3.9cm~5.4cm	このサイズを残し、 外観を中心に仕上げ摘果
	11月20日	4.8cm~6.5cm	

仕上げ摘果・枝吊り

10月以降果実の肥大は緩慢となりますので、その前に小玉果、傷果を摘果し、果実の大きさをそろえましょ。果実の重量で枝が折れたり、裂けやすくなるので、重たくなる前に、枝吊り、枝支えを必ず行いましょ。

施肥 中晩柑の項参照

——【キウイフルーツ】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。——

病害虫防除	9月上旬
○果実軟腐病	<u>バルコート水和剤 1000倍 100g/水100㍓ 収穫前日 5回</u>
*カイガラムシ多発園では9月上旬~中旬に <u>トランスフォームフロアブル 2000倍 50ml/水100㍓</u> 収穫3日前 3回	

施肥
9月中旬と10月中旬に分肥 キウイ配合 100kg/10a
後期肥大は、年間肥大の20%程度あります。肥料の分肥は9月中旬に60%、樹勢回復には10月中旬に40%の2回に分けて行う事で効果が上がります。

——【う め】——

夏季剪定 9月中旬頃までに、縮間伐・立ち枝の間引きを実施しましょ。
樹の内部に光を入れることで、花芽分化の促進をします。また、夏季剪定の際に残す枝の葉を落とすと翌年の花芽分化に悪影響を及ぼします。注意しましょ。

※灰星病発生園での剪定について

- 結果枝(実のなる枝)に症状がある場合は、切り落とします。
 - 被害が多い場合は、側枝単位で切り落とします。
 - 樹全体に症状が広がっている場合は、健全な枝(緑枝など)を残し切り落とします。
- 剪定枝は発生源になるので、必ず園外廃棄しましょ。

【お茶】

施肥 秋肥 9月中旬

秋肥は、貯蔵養分として来年の一番茶に利用されます。光合成が活発化する10月～11月に貯蔵養分として吸収され、越冬芽の充実度に反映し、来年の収穫量を左右します。2回に分肥し、1回目と2回目の施肥の間隔は20日程度を目安とします。

1回目 8月下旬 足柄茶配合033 80kg/10a

2回目 9月中旬 足柄茶配合033 80kg/10a

病虫害防除の徹底をお願いします。

病虫害防除 8月中旬～9月上旬

○チャハマキ ファルコンフロアブル 4,000倍 25ml/水100ℓ 摘採7日前 2回
チャノコカクモンハマキ

【かき】

枝つり

着色を良くするために、果実の重みで下がった枝を吊り上げて、光を入れるようにしましょう。

病虫害防除

9月上旬～9月中旬

カメムシ（夜間に飛来と加害が多いので、夕方に防除しましょう）

○スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

* カメムシは山林から飛来して加害します。園の一部に加害が集中する場合があります。園内を良く見回り、加害を発見した時は防除しましょう。（早生種では、加害時期と収穫時期が重なります。収穫前日数には十分に注意しましょう。）

○うどんこ病・炭疽病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 33g/100ℓ 収穫前日 3回

※ 台風などの強風、大雨があった場合は速やかに防除する。

【野菜】

タマネギ

播種の半月前までに、完熟堆肥（2kg/m²）・苦土石灰（100～150g/m²）を施し、よく土と混和しておきます。未熟堆肥の施用は、タネバエの発生を助長しますので避けましょう。

9月20日～25日を目安とし早生は早めに、中生は遅めに種をまきましょう。育苗日数は55日～60日を目安とします。

病虫害防除

○タネバエ ダイアジノン粒剤5 300～500g/a 播種時または定植時 2回以内

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は24時間前）

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

ねっとショップのお知らせ

令和6年9月7日（土）に開催いたします湯河原営農経済センター展示即売会でねっとショップのブースを設けます。ねっとショップの使い方、ご登録のお手伝い、日頃の疑問点などお答えします。「登録が面倒だな」、「使い方が難しそう」等、二の足を踏まれていた方、専門のスタッフがお待ちしておりますので、是非この機会にねっとショップの登録をしてみたいかがでしょうか

現在閲覧中の「秋季みかん肥料」の予約注文ですが、ねっとショップに8月25日（日）～9月10日（火）の期間掲載されます。閲覧で注文するよりねっとショップで注文するほうが値引きが大きくなります。是非、この機会にねっとショップの登録をしてみたいかがでしょうか。ねっとショップ登録についてはセンター職員がお手伝いしますので、お気軽にお声掛けください。

ねっとショップ会員登録画面へのアクセス方法

<https://jac-toru.zennoh.or.jp/>

新規会員登録はこちらから



ねっとショップ新規会員登録方法

ステップ1：「新規ユーザー（登録へ）」ボタンを押す

上記QRコードを読み込むか、JAのホームページから「JAねっとショップ」にアクセスいただき「新規ユーザー（登録へ）」ボタンを押してください。

ステップ2：メールアドレスを入力

ご案内先メールアドレスを登録するとご案内メールが届きます。

ステップ3：Eメールが届きます

届いたご案内メールには、お名前や住所等を登録するためのURLが記載されています。

ステップ4：URLより会員情報を登録

URLを開いて会員情報を登録してください